

欧米インフレはピークアウト示唆も高水準

ポイント① 米PCEコア物価指数は前月から減速

9月29日発表の8月の米PCE（個人消費支出）物価指数は前年同月比+3.5%と7月（同+3.4%）からインフレがぶり返しました。一方、基調的なインフレ率を示す米PCEコア物価指数は同+3.9%と7月（同+4.3%）から減速しました。項目別では、財は同+0.7%と低水準で推移するものの、サービスは同+4.9%と労働市場逼迫を背景に依然高水準で推移しています。

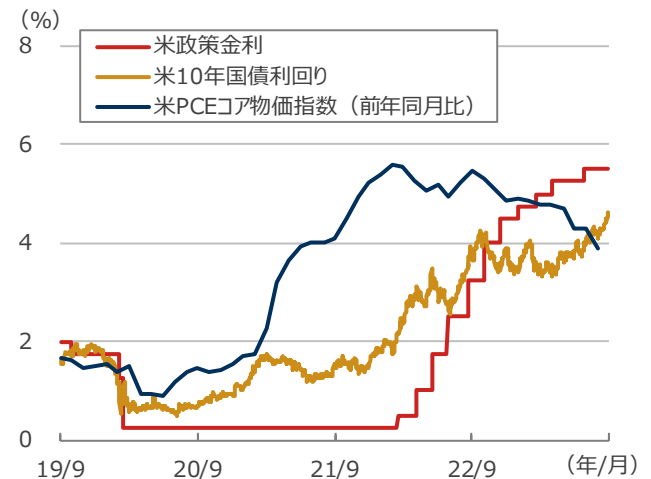
ポイント② ユーロ圏CPIは減速も高水準続く

同日に発表された9月のユーロ圏CPI（消費者物価指数）総合は前年同月比+4.3%（8月は同+5.2%）、コアCPIは同+4.5%（8月は同+5.3%）と、両指数ともに8月から減速しました。項目別では、非エネルギー工業製品は同+4.2%（8月は同+4.7%）、サービスは同+4.7%（8月は+5.5%）と、両指数ともに8月から減速しましたが、依然高水準で推移しています。

ポイント③ 注目が集まる欧米のインフレ率

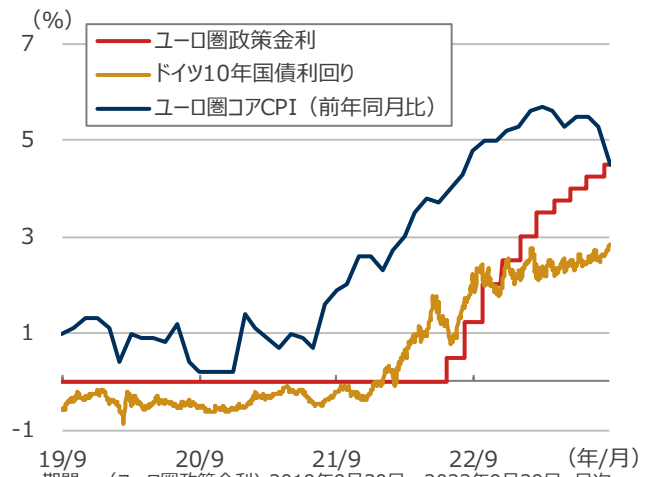
欧米のインフレはピークアウトしつつあるものの、依然として高水準です。市場ではインフレのピークアウトで利上げは最終局面を迎えた一方、現在の高金利政策が長期に続くとの見通しから、長期金利が上昇しています。欧米では失業率が低水準にあるなど労働市場が逼迫しており、賃金上昇圧力が高く、サービス価格などの高止まりが続いています。但し、欧州は景気が弱いことから、米国は景気は強い一方で10月から学生ローンの返済が再開されたことで、労働者が市場に戻ることから、それぞれ労働需給逼迫の緩和が期待されています。欧米では今後の労働市場やインフレ動向に注目が集まりそうです。

米政策金利と米10年国債利回りと米PCEコア物価指数の推移



期間：（米政策金利）2019年9月30日～2023年9月29日、日次
（米10年国債利回り）2019年9月30日～2023年9月29日、日次
（米PCEコア物価指数）2019年9月～2023年8月、月次
米政策金利はFF（フェデラル・ファンド）金利誘導目標上限値
米PCEコア物価指数はエネルギー、食品を除く
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ユーロ圏政策金利とドイツ10年国債利回りとユーロ圏コアCPIの推移



期間：（ユーロ圏政策金利）2019年9月30日～2023年9月29日、日次
（ドイツ10年国債利回り）2019年9月30日～2023年9月29日、日次
（ユーロ圏コアCPI）2019年9月～2023年9月、月次
ユーロ圏政策金利は主要ファイナンスレート
ユーロ圏コアCPIはエネルギー、食品、酒、たばこを除く
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

重要 イベント	10月12日 米CPI（9月）
	10月26日 ユーロ圏・金融政策発表